

氏名(国籍)	ばく し よん 朴 時 英 (韓 国)		
学位の種類	博 士 (スポーツ医学)		
学位記番号	博 甲 第 5086 号		
学位授与年月日	平成 21 年 3 月 25 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当		
審査研究科	人間総合科学研究科		
学位論文題目	Verification by Experiment for Upper-limb Skeletal Muscle Activities during Isokinetic Muscle Action of the Shoulder Joint (肩関節の等速性運動が上肢骨格筋に及ぼす影響)		
主査	筑波大学教授	医学博士	鯨坂 隆一
副査	筑波大学教授	博士(医学)	宮川 俊平
副査	筑波大学准教授	博士(医学)	向井 直樹
副査	筑波大学准教授	教育学博士	西嶋 尚彦

論文の内容の要旨

(目的) 投球動作において肩関節にかかる負荷を、減速期に注目して肩甲骨周囲の筋活動様態を解析し投球肩障害の予防の一助となる知見を見出すことである。

(対象と方法) 成人男性を対象としてバイオデックス3で投球時の減速期の状態を再現して僧帽筋・三角筋・大胸筋そして上腕二頭筋の筋活動を筋電計を用いて解析した。

(結果) 投球動作の減速期において僧帽筋中部および後部線維の筋活動が他の筋に比べ有意に増加していた。また経時的な検索においても減速期後半の筋活動が増加していた。

(考察) 先行研究では投球動作の加速に注目し研究が大半を占めていたが、この結果から投球動作の減速期における筋の不均衡は投球肩障害に結びつく要因となることがわかった。

審査の結果の要旨

投球障害の機序に熟知した観点から仮説が立てられ、それにもとづいた研究計画が立案され実行された論文である。得られた結果からの考察も論理的であり学位論文に値すると判断した。

よって、著者は博士(スポーツ医学)の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。